

# 市民意識調査から見える 「市民の本音」

平成19年11月(無作為抽出による18歳以上の市民3,000人対象)と、平成20年9月(無作為抽出による20歳以上の市民3,000人対象)に、市民意識調査(アンケート)を行いました。今回策定された総合計画の基本構想にもこの意識調査の意見が反映されています。その一部を紹介します。

## ■市政に対する現状評価(充実度・重要度)

※充実度ベスト10は、「大変充実している」と「少し充実している」が答えた割合。充実度ワースト10は、「全く充実していない」と「あまり充実していない」が答えた割合。重要度ベスト10は、「大変重要である」と答えた割合。(無回答を除く)

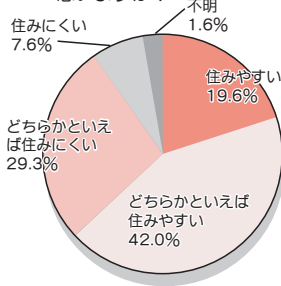
い評価  
上水道、歴史・文化、下水道に高

に不満  
企業誘致、中心市街地、商工業

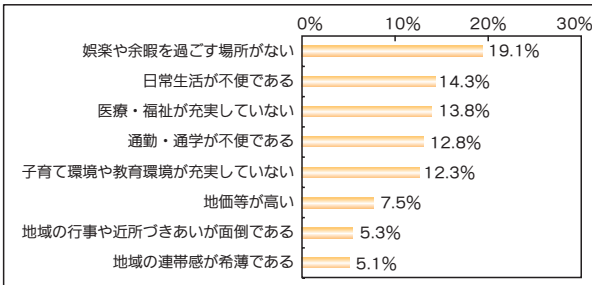
トップ3  
医療体制、子育て支援、教育が

### ■住みやすさについて

問. 七尾市は住みやすいところだと思いますか?



問. 住みにくい理由は何ですか?



### 充実度の高い施策ベスト(上位)10

①上水道 (安全・良質な水を安定して利用できる環境整備)	71.9%
②歴史・文化遺産 (七尾固有の歴史や文化遺産の保全)	53.6%
③下水道 (下水道整備による水質改善)	52.6%
④医療体制 (良質な医療体制の整備)	49.8%
⑤ごみ・公害 (ごみ・公害対策)	49.2%
⑥健康づくり (多くの市民の健康づくりの取り組み)	46.9%
⑦自然環境 (豊かな自然環境の保全)	41.3%
⑧住宅・緑地 (公園や緑地の整備、良好な住環境の形成)	38.6%
⑨生涯学習 (誰もが、いつでも、どこでも学べる環境整備)	38.0%
⑩スポーツ (スポーツ活動に参加できる環境整備)	37.5%

### 充実度の低い施策ワースト(下位)10

①企業誘致、雇用 (雇用機会の拡大)	80.4%
②中心市街地 (中心市街地の賑わい創出)	75.7%
③商工業 (商工業の振興)	64.4%
④行政経営 (効率的な行政経営)	63.6%
⑤協働 (市民と行政が協力し合うまちづくり)	62.9%
⑥地球温暖化対策 (地球温暖化に対する市民意識の高揚)	59.7%
⑦観光 (活気あふれる観光地の形成)	58.1%
⑧道路 (歩行者の安全確保、快適な運転ができるような道路整備)	57.6%
⑨公共交通網 (公共交通機関の整備)	54.3%
⑩防災対策 (地域における防災対策、災害未然防止対策)	52.6%

### 重要度の高い施策ベスト(上位)10

①医療体制 (良質な医療体制の整備)	86.3%
②子育て支援 (子どもを生み育てやすい環境整備)	85.5%
③教育 (子どもの教育環境の充実)	85.1%
④防災対策 (地域における防災対策、災害未然防止対策)	83.7%
⑤上水道 (安全・良質な水を安定して利用できる環境整備)	81.3%
⑥企業誘致、雇用 (雇用機会の拡大)	79.7%
⑦行政経営 (効率的な行政経営)	79.4%
⑧ごみ・公害 (ごみ・公害対策)	78.0%
⑨防犯・交通安全 (犯罪や交通事故の防止対策)	77.7%
⑩高齢者福祉 (高齢者が住みやすい環境整備)	77.1%

# 未来への責任

## 七尾市総合計画(基本構想)が完成しました

各分野の専門家が  
七尾市の将来を協議



市長の諮問を受け、総合計画(基本構想)の策定に関する審議を行った総合計画審議会では、活発な議論が交わされました。

### 七尾市総合計画審議会委員

- 北原 久禪**  
七尾地区地域審議会(市町会連合会)
  - 永江 榮毅**  
田鶴浜地区地域審議会(能登鹿北商工会)
  - 長田 和之**  
中島地区地域審議会
  - 森下 寛**  
能登島地区地域審議会
  - 浜浦 久男**  
市社会福祉協議会
  - 神戸 宏和**  
市民生委員児童委員協議会
  - 田中 雅晴**  
能登わかば農業協同組合
  - 石垣 康弘**  
石川県漁業協同組合ななか支所
  - 前山 正一**  
七尾商工会議所
  - 濱 暉元**  
市観光協会
  - 高島 隆夫**  
市文化協会
  - 関軒 明宏**  
市PTA連合会
  - 川島 博章**  
市公民館連絡協議会
  - 藤井 靖子**  
市女性団体連合会
  - 前山 英規**  
七尾青年会議所
  - 坂口 篤志**  
能登鹿北商工会青年部
  - 津田 博文**  
公募委員(クリエイティブ・テクノロジー・ラボ)
  - 谷内 博史**  
公募委員(会社員)
  - 森山 奈美**  
公募委員(まちづくりプラナ)
  - 岡田 全弘**  
公募委員(自営業)
- 順不同、敬称略。



岡田 全弘さん  
(能登島曲町)

今回総合計画の策定に関わり、たくさん勉強させてもらいました。まず初めに、現地を知ろうということ、市内の見学を行いました。今まで知らなかった七尾のことをたくさん知ることができたので、このことが一番良かったことかもしれません。

市民が主役といいますが、皆さんは自分の身に置き換えて考えていますか? 10年後の自分たちの姿を思い描いていますか? とともに考え、行動し、協働のまちづくりをしましょう。



藤井 靖子さん  
(殿町)

市PTA連合会代表という立場はありましたが、一人の親として参加しました。自分たちも住み続けたい、子どもたちも暮らしていきたいと思えるまちにしたいです。自然や歴史など七尾の宝物を見つめ直し、行政も市民もがんばっている姿を子どもたちに見せ、七尾のまちを好きになってもらえるようにしなければなりません。

子育てに力を入れるとともに、もっと女性が仕事と私生活の両立をできるように思っています。七尾は県内でも女性の就業率が高く、保育サービスは充実しています。これからは、女性が働きやすい環境づくりを行政はもちろん、企業も積極的にやっていけるようなくみづくりが必要だと思います。

### 子どもたちに七尾のまちを好きになってほしい



関軒 明宏さん  
(矢田町)

### 働きやすく、子育てしやすいまちに

子育てに力を入れるとともに、もっと女性が仕事と私生活の両立をできるように思っています。七尾は県内でも女性の就業率が高く、保育サービスは充実しています。これからは、女性が働きやすい環境づくりを行政はもちろん、企業も積極的にやっていけるようなくみづくりが必要だと思います。

## 市民と行政の協働で、市民主体のまちづくりを

計画の策定に関わった審議会の皆さんにお話を伺いました。

### 夢のある七尾を市民協働で



七尾市長  
武元 文平

協働の協は市民と行政と事業所の力をプラスして、力を合わせるという意味です。「人が輝くまち、七尾を作ろう」と七尾の将来像を定めた総合計画では、市民一人ひとりが七尾のまちづくりの主人公と位置づけられています。

夢のある七尾、それは大人も子どもも一人ひとりが輝いて、それぞれの夢に向かって行動する市民がいてこそ実現することです。一人ひとりの想いがまちづくりに活かされてこそ、幸せで住み良いまちになります。

市民が望むまちづくりは、市役所任せでは良いものにはなりません。そのためには市民も事業者も行政にいろんな提案をしていただき、その実現のために協働してもらうことが大切です。

今まで行政が中心となってきたまちづくりから、市民やNPO、各種団体、民間企業などがそれぞれの役割を果たし、互いに連携・協力しながら「自分たちのまちは自分たちでつくる」という協働のまちづくりへと変わらなければなりません。